

Q3 ドアを閉めた時に、ドア丁番の管部はなぜあんなにドアから飛び出しているのですか。

図-1

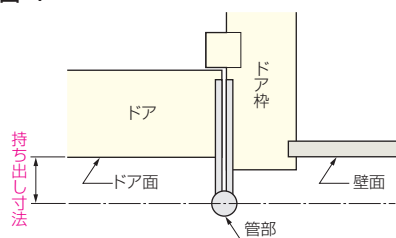


図-2

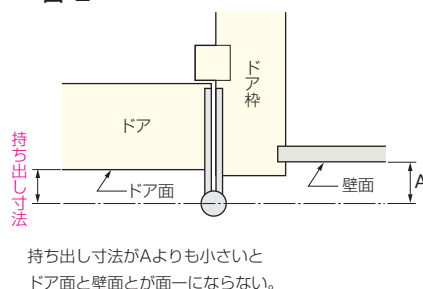
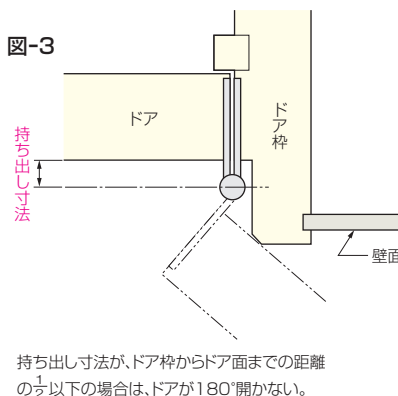


図-3



Q4 丁番でよく、背押しという言葉が聞きますが、その意味を教えてください。

A4

図-1をご覧ください。左図が背押しをしていない丁番(背押なし)、右図が背押しをしてある丁番(背押あり)です。

背押なしは、丁番を開いた時に2枚のハネの裏面がフラットな状態になります。背押ありは、ハネが裏面(背面)から押されるように管部の中心方向へ若干入り込んでいます。

製造工程で言えば、図-2のように背押しをしてある方が1工程増えることになります。一般に管部の径が大きい丁番は背押しをしてあり、径が小さい丁番の多くは背押しをしていません。

図-3のように管部の径が大きい丁番の場合、背押しをしていないと、丁番を閉じた時(ドアを閉じた時)に、ドアおよび枠を深く切欠きしない限り、ドアと枠の隙間が大きくなります。切欠きが深過ぎると見た目が良くないので、ハネの板厚分だけ切欠きすればきれいに納まるように背押しをしてあります。ただしその分、持ち出し寸法(丁番管部が、ドア面および枠面より突き出している寸法)がそれなりに必要になります。

図-1

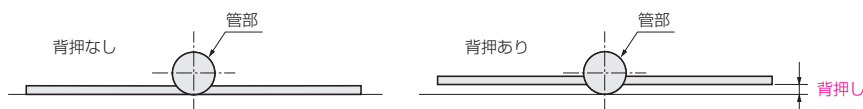
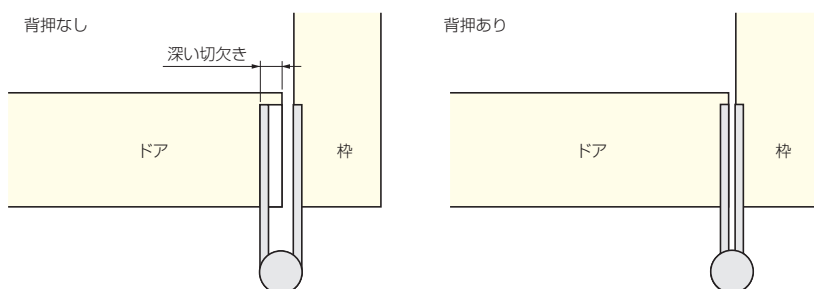


図-2



図-3



ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

ガイド

会社案内